

## 平成 20 年度前期 IFERI 合同研究会

### 企 画 書

#### 1. 名称

本企画は平成 20 年度前期 IFERI 合同研究会「**人社系異分野融合研究と新領域の開拓の試み**」とする。

#### 2. 開催期間

平成 20 (2008) 年 6 月 27 日 (金) ~ 6 月 28 日 (土) を開催日とする。

6 月 27 日 (金) :

午前の部 :

10 :00 -10 :05 開会の挨拶 人文社会科学副研究科長

10 :05 -10 :15 趣旨説明 IFERI 運営委員長

10 :15 -12 :15 シンポジウム「人社系異分野融合研究と新領域の開拓の試み」

司会 : 青木三郎

パネリスト : 木村武史 (哲学思想)

「二つの新研究領域 : サステイナビリティ研究と ロボエシックス研究」

辻中豊 (国際日本研究)

「国際比較日本研究の試み」

池田潤 (文芸言語)

「異分野融合研究としての古代オリエント学 : 筑波学派の回顧と展望」

前川啓治 (国際公共政策専攻)

「方法論的分野融合とその発展としての実践的フィールドワーク」

午後の部 : 現地調査と研究の展望

① 13 :40 - 14 :00 和久希 六朝言語哲学の東方展開—儒教・玄学・文学—

② 14 :00 - 14 :20 黄媚 中国の利益団体行動に見る政治・経済・社会システムの変容

③ 14 :20 - 14 :40 松本明日香

選挙レトリックと国家像形成—1960 年、1976 年米国大統領候補者テレビ討論を事例として—

④ 14 :40 - 15 :00 比嘉理麻

現代沖縄におけるヒトとブタの身体(五感)を介した関係に関する文化人類学的研究

コーヒー・ブレイク

⑤ 15 :10 - 15 :30 林優美子 ケアにおける病いの語り

⑥ 15 :30 - 15 :50 李旻澤 東アジアにおける孔子学院事業の比較研究

⑦ 15 :50 - 16 :10 飯野知宏 台湾をめぐる国際情勢とその社会変容

⑧ 16 :10 - 16 :30 松枝世 自殺総合対策におけるインターネット利用の研究

コーヒー・ブレイク

⑨ 16 :40 - 17 :00 齊藤和美 首長族観光研究—北部タイにおける難民カヤンの文化表象—

⑩ 17 :00 - 17 :20 長谷川詩織 西部とアフリカを巡るインターフェイス—進歩主義時代に製作されたアメリカ映画を中心に—

懇親会

(18 :00 - 20 :00、スープファクトリ)

6月28日(土):

- ⑪ 09:40 - 10:00 入山美保 孤立環境における日本語教育
- ⑫ 10:00 - 10:20 田中孝始 社会開発の視点から見た日本語教育の可能性
- ⑬ 10:20 - 10:40 TSAY Marina ウズベキスタンにおける朝鮮系民族集団の  
アイデンティティ、言語と文化
- ⑭ 10:40 - 11:00 磯田沙織 民主的代議制の危機に瀕するペルーとアンデス諸国の  
学際的比較研究
- コーヒー・ブレイク
- ⑮ 11:10 - 12:20 特別講演 フィールドワーカーの現場から  
I. 小野澤正喜 (育英短期大学現代コミュニケーション学科教授)  
II. 益田岳 (京都大学東南アジア研究所)
- 昼食
- ⑯ 13:40 - 14:00 中央アジア・日本学生知的交流会議報告  
(入山・田中・TSAY)
- ⑰ 14:00 - 14:20 全体討議・質疑応答  
コーヒー・ブレイク
- ⑱ 14:30-16:20 第二期生研究構想発表
- 14:30-14:40 久保朋江 国家における周縁文化の不可視性—被差別部落の事例
- 14:40-14:50 前田洋平 20世紀初頭の中欧とパン・ヨーロッパ運動
- 14:50-15:00 松浦正伸 朝鮮半島をめぐる『インテリジェンス研究』の新地平
- 15:00-15:10 北川直緒 ノルウェーの児童文学における子どもと大人の関係に  
関する研究
- 15:10-15:20 宮川宗之 アフリカのフランコフォニー形成と複数言語文化主義  
の実態研究
- 15:20-15:30 小田桐奈美 共生のための言語政策モデルの構築
- コーヒーブレイク
- 15:40-15:50 今井信治 先進資本主義諸国における「精神世界」の包括的研究
- 15:50-16:00 古田高史 戦後の言論界を中心とした昭和期日本の政治・社会・  
文化システムの変遷
- 16:00-16:10 王 冰 マスメディアと政治—商業化と政治規制の板挟みになった  
中国型のマスメディアを探る

閉会の辞

### 3. 開催場所

筑波大学大学会館特別会議室

### 4. 主催

筑波大学人文社会科学研究科インターファカルティ教育研究イニシアティブ

### 共催

筑波大学人文社会科学研究科FD委員会

### 5. 組織

実行委員長: 青木三郎 (筑波大学人文社会科学研究科教授、IFERI運営委員長)

実行委員:

総務: 池田潤 (筑波大学人文社会科学研究科准教授、IFERI運営委員)

広報: 戸部篤 (筑波大学人文社会科学研究科非常勤研究員)

連絡調整（IFERIプログラム生）

- ・シンポジウム：飯野・松本・比嘉
- ・現地調査

6月27日（金） 受付：小田桐・北川・王冰

午前の部（13:40-15:00）：宮川・古田・松浦

ビデオ撮影等：斎藤・前田

写真：二ノ宮、今井、久保（慶）

午後の部（15:00-17:00）：久保・北川・王冰

懇親会：佐藤・入山・久保（朋）

6月28日（土） 受付：長谷川・磯田

午前の部（9:40-11:00）：松枝・和久

午前の部（11:15-12:15）特別講演 松枝・和久

午後の部（13:40-14:20）李・林・TSAY・黄媚

第二期生研究構想発表（14:30-16:20）：李・林・TSAY・黄媚

## 6. 本企画の概要

**目的：**文部科学省大学教育改革支援プログラム「新領域開拓のための人社系異分野融合型教育」の推進のために、人文社会科学研究科の主な研究事業を推進している研究者にそれぞれの研究の取り組みを発表していただき、「人社系異分野融合研究」の可能性について議論する。さらに、IFERIプログラム生が現地調査報告および研究展望を発表し、ともに新研究領域の開拓を模索する。また本研究科FD委員会の協力を得て、FD活動の一環として本企画を位置づけ、本研究科構成員のFD向上を目指す。

**内容：**本企画は、3部構成になっている。第1部はシンポジウム、第2部は特別講演、第3部はプログラム生による現地調査報告・研究構想発表である。第1部シンポジウム「人社系異分野融合研究と新領域の開拓の試み」では、人文社会科学研究科における研究センター（国際比較日本研究センター、中央アジア連携センター）、（プレ）戦略イニシアティブの取り組みなど、特色のある研究を推進している研究者とともに、人社系異分野融合のあり方を討議する。第2部特別講演では、招待研究者の経験に基づいてフィールドワークの現場について自由に語っていただく。現場主義的な研究アプローチの重要性をプログラム生に認識させるものである。第3部現地調査報告・研究構想発表会では、すでに現地調査を行った第1期プログラム生の報告および研究の方向性を発表してもらう。第2期生は独創的な研究構想を発表し、プログラム生相互の研究内容の理解を深める。